

もっと知りたい! どうぶつこーす

応用動物科学コース

検索

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~zoology/>

応用動物科学コースのホームページでは、授業や実験実習の様子、研究成果の学会発表、教育・研究の対象動物など、最新情報を随時紹介しています。本誌の内容も、さらに詳しく紹介していますので、あわせてご覧ください。

大学院生募集中!

他大学からの大学院進学も積極的に受け入れています。研究室の見学や進学相談などは随時受け付けていますので、大学院進学を考えた際の学外の大学生も、お気軽に各研究室へお問い合わせください。

関連施設 (学部の附属施設)

岐阜フィールド科学教育研究センター

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~gufarm/html/index.html>

附属岐阜フィールド科学教育研究センターには、2つの牧場があります。構内の柳戸農場には、乳牛、ヤギ、ヒツジ、ウマなどが飼育されています。また、大学から離れた別の場所に、美濃加茂農場があり、ここでは肉牛が飼育されています。これらの牧場は、動物コースの実習拠点です。毎年、夏には美濃加茂農場で宿泊体験型の「牧場実習」を行なっています。



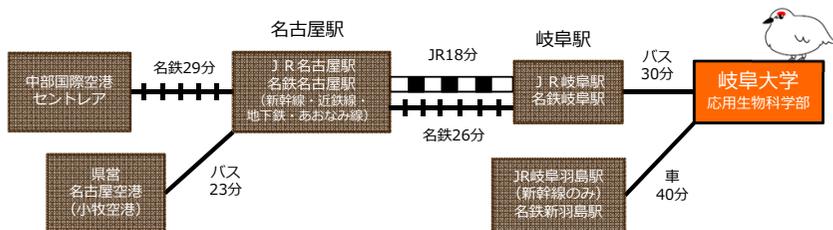
野生動物管理学研究センター

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~rcwm/>

生物多様性の保全を目標とする諸研究を推進するとともに、野生動物を含む自然環境に関わる教育と文化活動を幅広く展開しています。動物コースの教員もセンターの活動に参加し、関連する授業の一部を担当しています。大学院修士課程からは、このセンターの関連研究室(野生動物医学研究室)に所属することもできます。2012年には、岐阜県との連携により、新たに「鳥獣対策研究部門(寄附研究部門)」が設置されています。

アクセスよし! 意外に近い名古屋駅, 岐阜の一人暮らしは不安なし

岐阜駅・名古屋駅間は30分以内と意外に近いんです。岐阜駅からのバス網も整備されています。岐阜大学周辺や郊外には、イオンなどの大型ショッピングセンターや大型電気店がいくつもあります。大学周辺には多くのアパートがあり、スーパーやホームセンターもたくさんあるので、自転車があれば、一人暮らしの生活に不便はありません。そして、高学年になれば車を持つ学生も増えてきます。車があればとても便利で、岐阜は住みやすいところです。岐阜市内では、雪は年に数回しか降りませんし、数日でとけてしまうので、積雪による不便はほとんどありません。



動物コースガイドブック これ一冊で◎まるわかり

国立大学法人 岐阜大学 応用生物科学部
生産環境科学課程 応用動物科学コース
〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1-1-1

発行 2013年8月7日 監修 応用動物科学コース / 編集 デザイン 橋田哲士 / イラスト 小川由貴・堀場拓磨
※本誌は『応用動物科学コース』をよく知って選んでいただくためのコースガイドブックの冊子です。
正式な情報は、必ず応用生物科学部の資料やホームページなどで確認ください。

小川由貴・堀場拓磨



岐阜大学 応用生物科学部 生産環境科学課程 応用動物科学コース



GUIDE BOOK

岐阜大学

Applied Animal Science 動物コースガイドブック これ一冊で◎まるわかり



どうぶつ好きは
どうぶつサイエンスの
専門家になろう。

岐阜大学応用生物科学部
生産環境科学課程
応用動物科学コース

動物の発生・遺伝・栄養・繁殖および行動学をカリキュラムの基盤として、動物の生命・生理現象に関する学理を、主に産業動物や展示動物などの生産、管理および保全に応用するための知識や技術を習得することを目的とした教育を行います。

*生産環境科学課程として入学し、生産環境科学に関する幅広い基礎を学んだ後、3年生から3つのコース（応用動物科学コース、応用植物科学コース、環境生態科学コース）に分かれます。各コースへの分属希望調査は、2年生の秋ごろに実施しています。

人と動物の未来のために.....

動物飼育のサイエンス

応用動物科学コースは **生命**・**生産**・**保全**がキーワードです。

動物の生命のサイエンスを基礎に
家畜のよりよい生産から希少動物の保全まで



動物の生産科学
PRODUCTION



動物の保全科学
CONSERVATION



LIFE SCIENCE
動物の生命科学



卒業時に得られる資格など

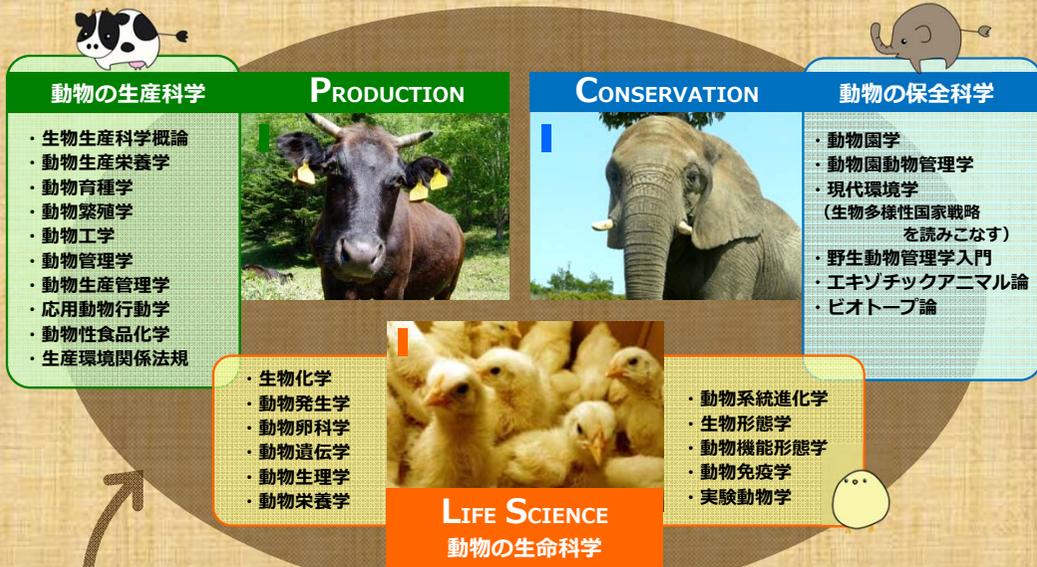
- **学士（応用生物科学）**
所定の単位を修めると資格が得られます。
- **高等学校教諭一種（理科・農業）免許状**
教員免許取得のための専門的な授業（教職科目）が別途用意されています。
- **博物館学芸員資格**
動物園・水族館・自然史博物館等に関する専門的な授業（博物館科目）が別途用意されています。
- **家畜人工授精師及び家畜受精卵移植師**
所定の単位を修めると試験の一部免除や実務経験の短縮が認められます。

どうぶつ コースの 授業

応用動物科学コースの教育科目群は、主に生命科学、生産科学、保全科学の3つに分けられ、それぞれの講義に対応する実験・実習があり、バランスよく構成されています。

動物の**生命科学・生産科学・保全科学**について体系的・統合的に理解する能力を身につけるとともに、主に**産業動物（家畜）**や**展示動物（動物園動物）**などの生産・管理・保全に携わることができる知識と技術を習得します。

教室での講義や実験室での実験に加えて、応用動物科学コースでは、現場体験型の実習を重視しています。
①牧場実習・**②動物園学実験実習**・**③野生生物フィールド実習**
 これら3科目の実践編として、さらに学外でのインターンシップ実習が行われます。



- ・動物発生学実験及び実験法
- ・動物行動管理学実験実習
- ・牧場実習
- ・動物分子遺伝学実験及び実験法
- ・動物園学実験実習
- ・野生生物フィールド実習
- ・動物生理学実験及び実験法
- ・動物機能形態学実習
- ・インターンシップ実習
- ・動物栄養学実験及び実験法
- ・情報処理演習/情報処理実習

どうぶつコースの授業内容（一部）

動物発生学

多細胞動物の体はたった1個の細胞、すなわち受精卵からスタートし、徐々に成体が構築されていく。しかも「カエルの子はカエル」にしかない。この驚くべき発生現象の概要と制御メカニズムの理解をめざし、多様な動物群における初期発生過程について解説する。

動物遺伝学

近年、様々な動物のゲノムレベルでのDNA配列解析や、有用形質や疾患に関わる遺伝子の解明をめざす研究などが進む一方、野生動物の遺伝的多様性を保全するための学問も発展しつつある。本講義では、最新の動物遺伝学を学ぶのに必要な基礎的な知識をわかりやすく解説する。

応用動物行動学

動物の行動に関する基礎知識や動物行動学の原理を紹介する。また、それらを用いて動物の飼育管理の問題を解決する方法を例示しながら、動物行動学の応用や動物の行動調査・研究方法について講述する。

動物管理学

飼育下の動物の管理、主に動物の生活の管理について、動物の飼育環境への適応やアニマルウェルフェアの観点から講述する。学習達成目標:動物の飼育方式・環境が動物へ与える影響について生物学的視点で捉える能力を身に付ける。

動物園学

動物園（水族館も含む）は、生きた動物、主に野生動物を収集・飼育し、種の保全を図りながら展示や研究等を行う博物館の一形態である。動物園は、レクリエーション、教育、種の保存、調査・研究がその中心的な役割とされ、また昨今目される生物多様性の保全にも大きく貢献し、現代社会に必要不可欠な場所になっている。動物園は単なるレジャーランドではない。動物園の存在意義と機能について、歴史的背景から紹介すると共に、動物園生物学の基礎について概説する。

動物園動物管理学

動物園は、生きた動物、主に野生動物を収集・飼育し、種の保全を図りながら展示や研究等を行う博物館の一形態である。動物園を博物館動物（飼育下野生動物）は博物館資料と解されている。動物園動物の収集や飼育、種の保全等に関する理論や方法に関する知識・技術を習得し、また動物園の調査研究活動について理解することを通じて、動物園や動物園動物に関する基礎的能力を養う。

動物生理学

動物は、進化の過程で外界の環境とかがわりあい種々の生理機能を獲得した。本講義では、動物各器官の組織機能の知見をもとに、神経系、筋肉、循環、呼吸、繁殖、感覚等の生理について解説する。

動物生産栄養学

動物体内における栄養素の代謝過程、特にエネルギー代謝について考えるときに、肉、乳、卵など生産に必要な栄養所要量の決定法とその内容および栄養素給原としての飼料の評価について講述する。

動物繁殖学

哺乳動物の繁殖生理学的な現象や機能について講義する。対象となる哺乳動物は、これまでの研究成果が多い家畜を中心とするが、動物園動物や野生動物についても概説する。

エキゾチックアニマル論

エキゾチックアニマルの概念および希少種の飼育を制限するワシントン条約や種保存法等の法制度などを述べた上で、哺乳類・鳥類・爬虫類などのエキゾチックアニマルの生理・生態・分類・社会・行動、飼育に関する知識、日本における侵入生物（外来生物）の現状、捕獲や保定の技術などについて論じる。エキゾチックアニマルの概念を理解し、それらに属する動物種の生理や生態などの知識を身に付ける。

動物卵科学

卵は、生命発生の原点であると同時に、食品として人間生活を支える重要な生物生産資源でもある。本講義では、私たちの生活と密接に関わる「卵」について、卵発生、卵形成、産卵生理などの生物学と、食品としての卵やその機能的利用法について解説する。

動物育種学

動物の育種とは、単なる資源の状態から再生産が人為的に制御される資本へ、遺伝子組成を変化させることである。現在、家畜各種のゲノムが急速な勢いで解読されつつあり、在来家畜を含む動物遺伝資源の新たな活用が始まっている。本講義では、動物育種素材の検討と育種技術の方法論や遺伝性疾患をめぐる問題について講述し、家畜育種の将来展望について考察する。

ビオトープ論

ビオトープの原義は、多様な生き物が相互に密接に関係しながら生きる生息空間のことである。我が国は経済成長によって生活水準が向上した一方で、自然環境の破壊が急速に進み、身近な動植物が絶滅の危機に瀕している。このような生物種を守るためには、その生物自身を保護し、増やすことだけでなく、その生物を含む生態系全体を健全に機能させることが重要である。本講義では、地域に多様な生物群集の生育する場を保全・復元・創出し、それをネットワーク化することによって多様な生態系の保全につなげるための一連の方策について講述する。

3年生のAさんの時間割（平成25年度前期の場合）

	月	火	水	木	金
1限		動物免疫学	動物栄養学	応用動物行動学	
2限	動物繁殖学	動物遺伝学	動物卵科学	動物発生学	動物園学実験実習
3限		動物分子遺伝学 実験及び実験法		ビオトープ論	野生生物 フィールド実習
4限	動物生理学 実験及び実験法	動物発生学実験 及び実験法		情報処理実習	
5限					動物園学

(注) 授業科目は、カリキュラムの更なる充実のため、一部変更されることもあります。
ここに記した授業科目には、生産環境科学課程の共通科目や関連する全学共通教育科目も含まれています。

(注) 時間割表（科目の開講曜日や時間など）は毎年変更になります。選択科目などもあるため、人によって時間割が若干異なります。

牧場実習（3年生・夏、4泊5日の宿泊実習）

岐阜フィールド科学教育研究センター柳戸農場（酪農）および美濃加茂農場（肉牛生産）で実施します。各農場において乳牛および肉牛の子牛から成牛までの飼養管理技術および乾草作成などの飼料生産技術を実習します。また、動物の管理に必要な飼料設計、動物のハンドリング（取り扱い）、草地や土壌管理などの方法を学習します。

1. 牧場の管理と経営
 - ・乳用牛および肉用牛の品種論
 - ・酪農および肉牛生産の飼養体系と経営
 - ・牛の個体識別、牛乳生産、食肉処理、牛肉の格付け、トレーサビリティ
2. 牛の日常管理
 - ・牛の形態と機能の基礎
 - ・畜舎清掃
 - ・ハンドリングとロープワーク
 - ・飼料設計と飼料給与の実際
3. 牛の特殊管理
 - ・体重・体尺測定、泌乳牛のボディコンディションスコア測定、肥育牛の体型審査
 - ・発情発見と鑑定法、人工授精法・去勢法
 - ・健康管理と疾病診断
4. 飼料作物の生産と管理
 - ・トラクターと作業機の構造と操作方法
 - ・牧草の播種と収穫、牧草の収量調査、土壌診断
 - ・圃場管理（雑草防除・駆除、牧場の点検・修理）
5. 牛の管理と福祉
 - ・行動の評価と調査
 - ・管理方法と動物の福祉



附属岐阜フィールド科学教育研究センター美濃加茂農場での肉用牛放牧

動物学実験実習（3年生・前期）

動物園は、野生動物を飼育展示するだけでなく、保全センターとして絶滅危惧動物の種の保存や調査研究が行われています。また、博物館として様々な教育研究用標本の作製とその活用が図られています。この実習では、動物園における野生動物の飼育や繁殖管理に必須となっている実験手法や、貴重な標本の作製法を習得し、動物園でそれらの技術がなぜ必要か、いかに活かされているのかについて学びます。

1. 動物標本の作製と作製意義
2. 動物の展示と展示解説、展示解説板の制作
3. 動物園動物の飼育管理のためのホルモン分析（実験）
4. 動物園動物の飼育管理法と施設見学
5. 動物園研究所の研究例と施設見学
（よこはま動物園ズラシア・横浜市繁殖センター）



動物園で死亡したトラを骨標本にしています



キリンの糞を使って性ホルモンを分析します



京都嵐山で野生ニホンザルの行動を観察します



牛のハンドリングとロープワークを学び、実際に牛を引いて動かしてみます



トラクターを動かし操作方法を習います



名古屋市東山動物園で飼育下野生動物の行動を観察し、習った観察記録法を実践します



ワナを仕掛け、カメ類の捕獲調査を行います



畜舎清掃もみんなで行えば楽しい



牛の飼料給与を日々の管理で実践します



牛の体尺測定と体型審査の方法を習います



愛知蒲郡の竹島海岸で磯の生物を採集し、観察します。そして、竹島水族館で海の生物の形態や行動をじっくり観察します



よこはま動物園でアジアゾウ舎を見学、野生動物の飼育や繁殖の管理方法を学びます



牧草地の土壌を採集し、土壌の質を診断します



牛の直腸検査と人工授精の方法を学びます



横浜市繁殖センター（動物園研究所）を見学します



（注）実験実習の内容や実習地は、年によって変更になる場合があります。



学外機関との連携

応用動物科学コースは、学术交流や共同研究に関する協定を学外機関と結び、よりよい教育や研究の充実のために、連携を図っています。

- ・横浜市環境創造局（横浜市繁殖センター）
- ・財団法人名古屋みなと振興財団（名古屋港水族館）
- ・公益財団法人東京動物園協会 恩賜上野動物園
- ・公益財団法人東京動物園協会 多摩動物公園（野生生物保全センター）
- ・加森観光株式会社 姫路セントラルパーク
- ・札幌市円山動物園
- ・姫路市（姫路市立動物園）

この他、畜産研究機関や他大学、名古屋市東山動物園などの全国の動物園等と連携して、様々な共同研究を進めています。3年生の夏には、多くの学生が学外機関でインターンシップ実習を行っています。

名古屋港水族館との学术交流協定



応用生物科学部と名古屋港水族館は、2009年に学术交流協定を締結しました。野生動物の飼育・展示及び種の保存における科学技術の発展が両機関の学術的利益に寄与することを共通認識し、取り交わされました。授業での見学・実習や、鯨類・カメ類の共同研究が行なわれています。



協定締結時の 祖一館長と小見山前学部長

名古屋市東山動物園との共同研究



世界で1年間に約1000種の野生生物が絶滅に追いやられているといわれています。動物園は、いまや野生動物の保全センターです。岐阜大学と東山動物園は、絶滅危惧動物の保全にむけて、2000年から繁殖研究を、2008年から行動研究を、また2010年からは環境エンリッチメントや動物の遺伝的多様性に関する研究を行っています。2012年からは授業での行動観察実習を行っています。

共同研究例①

動物の性成熟や排卵周期、発情、妊娠などの繁殖生理は、体内の性ホルモン濃度を定期的に測定すれば正確に調べることができます。動物園では、飼育動物の生理状態を知ることが、飼育や繁殖のために重要です。そのために、動物にも人間にも安全でストレスのない研究方法の開発が必要です。東山動物園と動物繁殖学研究室は、動物の排泄物を使って、性ホルモンを測定できないかを研究し、多くの希少種の繁殖生理を明らかにしてきました。（動物繁殖学研究室）

共同研究例②

食肉目の動物では、甘味受容体の遺伝子の違いが、それぞれの種における甘味の認識能力と密接に関係していることが知られています。動物遺伝学研究室は、ツキノワグマの甘味受容体遺伝子に、独特の変異を発見しました。したがって、彼らは、独自の甘味認識能力を持っているかもしれません。私たちは、ツキノワグマとメカネグマに、水道水のみと甘味料入りの水とを与え、識別ができるかどうかを調べる実験を東山動物園に行いました。（動物遺伝学研究室）

淡水生物園

在来水生生物保全池
2011年完成

淡水生物園ホームページ

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~zoology/contents/hcc/hcc.html>

岐阜県は豊かな自然に恵まれ、岐阜市内にもまだまだ緑豊かな自然環境が多く残されています。市内には、多くの希少な淡水生物が生息していますが、やはり環境の悪化や外来種の生息域拡大は他地域と同様に深刻な問題です。このような環境の変化に伴い、岐阜地域でも絶滅の危機に瀕している生物は少なくありません。そこで、構内の一面に小さな人工池（約200m²）を造成し、高校・水族館・市役所と協働して、岐阜の希少な淡水生物の保全を図ると共に、飼育個体の生物学研究や野外調査を進めています。淡水生物園は、応用動物科学コースが管理している実習場所のひとつです。

ニホンイシガメ



レッドリスト
環境省版(2012)
準絶滅危惧
岐阜県版(2009)
準絶滅危惧

岐阜市内でニホンイシガメ（日本固有種）をみることは少なくなってきています。よくみるカメは外来生物のミシシビアカミガメ（通称ミドリガメ）とクサガメです。大学構内や周辺河川で動物繁殖学研究室が行なった捕獲調査では、イシガメは僅かで、外来のアカミガメとクサガメが90%以上を占めていました。大学地区のイシガメの保全繁殖を進め、復活を目指しています。また、動物遺伝学研究室では、アカミガメとクサガメのDNAを分析することにより、その由来や繁殖状況を明らかにし、外来種の生息域拡大の防止に役立てていく予定です。

カスミサンショウウオ



レッドリスト
環境省版(2012)
絶滅危惧Ⅱ類
岐阜県版(2009)
絶滅危惧Ⅰ類

カスミサンショウウオは、岐阜県以西の本州・四国・九州北西部など西日本に広く分布する全長10センチほどの小型のサンショウウオです。分布東限にあたる岐阜県では、現在2箇所にしか生息が確認されていません。その生息環境は安心できる状況ではなく、絶滅の危機に直面しています。岐阜市の個体は、条例で厳しく保護されています。特に、県立岐阜高校や世界淡水魚園水族館アクア・トトギス、岐阜市役所自然環境課が保全活動を展開し、その成果が実を結んできています。私達は、構内に域外保全池を造成し、2011年からこの活動に参加しています。

ナゴヤダルマガエル



レッドリスト
環境省版(2012)
絶滅危惧ⅠB類
岐阜県版(2009)
絶滅危惧Ⅱ類

岐阜市内にも多く生息するナゴヤダルマガエルは、環境省レッドリストに絶滅危惧種として記載されています。従来の見解にも似たトノサマガエルとは、従来、繁殖時期がずれていましたが、用水の共同管理や稲作の大規模化に伴って田んぼに水が入る時期が遅くなり、両種間の交雑が進んでいると考えられています。比較生化学研究室は、母系遺伝するミトコンドリアDNAの遺伝子解析を利用して、ナゴヤダルマガエルの交雑状況を判断する手法を開発しました。この手法で、見た目には分かりにくい両種の交雑状況の調査を行っています。



淡水生物園では、2011年以降、ニホンイシガメが毎年産卵し、小亀も見つかっています。

淡水生物園に放流したカスミサンショウウオの幼生が上陸して大きくなりました。

■特集 地域の生物の保全〜大学・高校・水族館・市役所の連携



応用動物科学コースには、
動物発生学、比較生化学、動物ゲノム多様性、動物生産栄養学、動物栄養学、
動物工学、動物管理学、動物遺伝学、動物繁殖学の9つの研究室があります。
3年生の6月ごろに、どこの研究室に入りたいかの希望調査が行われ、
3年生後期から各研究室に所属し、卒業研究が進められます。

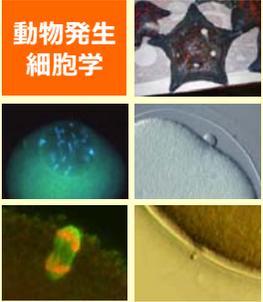
DNAから細胞 ▶▶▶ 動物の飼育から生産管理
▶▶▶ 身近な生物から国際希少種の保全へ

**どうぶつ
コースの
研究室**

各研究室へのリンクページ

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~zoology/contents/lab/lab.html>

**動物発生
細胞学**



私たち多細胞動物の体は数多くの細胞から成り立っていますが、元をたどると受精卵という、たった1つの細胞に由来します。受精卵は究極の幹細胞といえます。なぜこんなことが可能なのでしょう？ 普通の細胞とどう違うのでしょうか？ そして、どのようにして個体の「いのち」が始まるのでしょうか？ **動物発生学研究室（動物発生細胞学）**では、主に棘皮動物を材料にして、「いのちの始まり」を科学します。棘皮動物の卵は比較的透明で、生きたまま卵内を探ることができます。また、同調よく発生するため、時間を追った詳しい観察が可能であるという利点もあります。特にヒトデ類は天然の卵成熟誘起ホルモンが知られている、数少ない動物の1つです。「卵成熟」とは、減数分裂の途中で一旦停止して成長した卵母細胞が、減数分裂を完了し、精子を受入れ可能な成熟卵へと変化する過程を指します。卵成熟はいわば「いのちの始まり」を担う卵細胞を完成させるための、最後の総仕上げのステップといえます。このホルモンの発見により、ヒトデ類は卵成熟、そしてその後の受精・卵割のしくみを探るのに最も適した材料の1つになっているのです。動物発生細胞学研究室では、これらの仕組みを明らかにしていくことで、動物の生殖メカニズムの理解を深め、ひいては動物の繁殖技術の発展に寄与していきたいと考えています。

教員： **山本 謙也** 准教授
理学博士
動物発生細胞学

- 現在の主な研究テーマ
- (1) 卵成熟/受精過程における細胞骨格系の役割の解明
 - (2) 減数分裂進行と極体形成メカニズムの解明
 - (3) 分裂溝誘導における、紡錘体と卵表層の相互作用の解明



担当授業科目： 動物発生学、動物系統進化学、動物卵科学、動物発生学実験及び実驗法、野生生物フィールド実習 など

**比較
生化学**



比較生化学研究室は「内分泌・代謝学」と古くから呼ばれてきた学問分野を研究しています。この地方に養鶏産業が盛んなことを背景にして、ニワトリやその卵を主な研究対象にしていますが、ニワトリの産業動物的な側面にだけ焦点を当てたり、ニワトリをモデル動物として細胞内で起こる現象のメカニズムだけを明らかにするのではなく、内分泌・代謝の研究を通じて、鳥類という動物がその歴史の中でどのような「生きるための知恵」を生み出してきたのかを知ることが目標にしています。研究の手法は生化学的・分子生物学的方法が中心です。また、近年における身近な自然と生物多様性の減少を背景に、私たちの関心は、従来の古典的農学（たとえば、家畜・家畜を対象とした基礎的・応用的な科学）から「自然環境と調和した、持続可能な生物資源の生産」「絶滅が危惧される動植物の保護管理や救済」「身近な生き物を育む自然環境の保全」などへと大きく変化しています。比較生化学研究室は、これらの課題についても取り組んでいます。

教員： **岩澤 淳** 教授
博士（医学）
比較生化学

- 現在の主な研究テーマ
- (1) 鳥類の高血糖維持機構とその生物学的意義の解明
 - (2) 鳥類の個体発生に伴う脳下垂体-甲状腺系の成立過程の解析
 - (3) 圃場整備が水田生態系におよぼす影響、とくに水田に生息するカエル類の種間交雑について



担当授業科目： 生物化学、動物卵科学、ピオトープ論、動物生理学実験及び実驗法、野生生物フィールド実習 など

**動物ゲノム
多様性学**



生態系などにおいて、生物多様性が重要であることは広く認識されています。このことは、農業生産分野においても例外ではありません。経済性が高く、現在の市場における需要に合致した少数の家畜や家禽の品種が大規模に飼育されるという傾向があり、このような品種の画一化が進む一方で、需要にそぐわない品種や経済的価値が低いとされる在来品種が見捨てられ、品種や系統の数の減少が世界的な規模で進んでいます。限られた少数の品種による遺伝的単一性は、将来の環境変化や疾病の流行等の際に深刻な影響を引き起こすことも考えられます。したがって、将来における育種素材として、多種多様な品種・系統を保存することが国際的にも重要視されています。このような現状から、**動物ゲノム多様性学研究室**では、動物遺伝資源の保存を行う際の基礎的な情報を得ることを目的として、我が国で保有されている家畜・家禽の品種や系統の遺伝的多様性と品種や系統間の遺伝的類縁関係をDNA多型マーカーを用いて、明らかにしています。現在は、家禽のニワトリを主な研究対象としています。また、飼育下にある希少動物の保護増殖に貢献することを目的とした遺伝学的解析も併せて実施しています。

教員： **只野 亮** 助教
博士（農学）
動物ゲノム多様性学

- 現在の主な研究テーマ
- (1) 動物遺伝資源の遺伝的多様性の解明ならびに系統分類
 - (2) 希少な在来家畜・家禽品種の保全にむけた遺伝学的解析
 - (3) ウズラのDNA多型マーカーの開発と遺伝学的解析への応用



担当授業科目： 動物分子遺伝学実験及び実驗法 など

**動物生産
栄養学**



動物栄養学研究室（動物生産栄養学）は、ウシ、ヤギ、ヒツジ、ブタ、ニワトリといった家畜・家禽と呼ばれる動物を研究対象としています。研究の大きな目標は、家畜・家禽の消化、吸収、代謝と管理・飼養方法との関係を解明し、効率的な家畜・家禽生産技術を開発することにより、人類の食料生産に貢献することです。しかし、単に食料生産として効率よく家畜・家禽を飼育するだけではなく、「動物の福祉に配慮した」管理技術や飼養技術の研究を行い、その開発を目指しています。また、「自然環境と調和した持続可能な生産」を目標に、耕作放棄地や再造林放棄地などに草食家畜を放牧することにより、家畜生産と里山の保全との融和を図る研究と技術の開発にも取り組んでいます。動物生産栄養学研究室は、動物を「個体」として捉えることを重要と考えています。研究の過程では、生化学的あるいは生理学的な分析をしますが、それらが最終的に個体あるいはその飼育環境にどのような影響を及ぼしているかを意識して研究を行っています。また、人類と積極的に関わりを持ってきた家畜・家禽の特徴を生かし、動物と密接に関わった教育と研究を行っています。

教員： **八代田 真人** 准教授
博士（農学）
動物栄養生態学

- 現在の主な研究テーマ
- (1) 反芻家畜の放牧による荒廃農地の再生
 - (2) 草食家畜の採食戦略と採食行動の解明
 - (3) 飼料米の栄養評価と飼料原料としての利用
 - (4) 反芻家畜における低質粗飼料の効率利用



担当授業科目： 動物栄養学、動物生産栄養学、動物生産管理学、動物栄養学実験及び実驗法、牧場実習 など

**動物
栄養科学**



動物性タンパク質源はヒトの健康を高める上で重要な食糧源として位置づけられ、その生産は重要な意味合いを持っています。生産物が兼ね備えておかねばならない最低条件である安全性、栄養価、嗜好性、経済性を念頭に置きながら、**動物栄養学研究室（動物栄養科学）**では主に家禽（採卵鶏、ブロイラー、ウズラ）やブタといった中小家畜を用い、栄養学、飼養学、飼料学、管理学、生理学、衛生学などの幅広い学問知識を背景に教育研究を進めます。

近年、ニワトリやブタの飼料の主成分であるトウモロコシや大豆の供給が世界的に不安定な状況にあり、種々の代替飼料原料や飼料自給率を高める飼料原料が提案されています。その中には栄養素の吸収および代謝面に影響を及ぼすと予測される成分を含む飼料原料もあるため、その効率的な利用法について研究するとともに、採卵鶏の生涯に渡る産卵成績を向上させる飼養法を研究します。また、動物を飼育する過程で生じる排泄物から発生する臭気物質・温室効果ガスや排泄物に含まれる窒素やリンなどを栄養成分の制御により減らし、環境（大気、水質）に負荷を与えない動物の飼料について研究します。

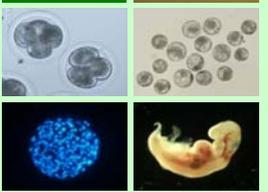
教員： **山本 朱美** 准教授
博士（学術）
動物栄養科学

- 現在の主な研究テーマ
- (1) 非澱粉性多糖類が栄養素の消化吸収と産卵成績に及ぼす影響の解明
 - (2) 栄養素の利用と環境負荷物質排出に関する研究
 - (3) 畜舎からの窒素フロー算定法の確立



担当授業科目： 動物栄養学、動物栄養学実験及び実驗法、牧場実習 など

動物工学



近年、アニマル・バイオテクノロジーは日進月歩の勢いで進展し、農業だけでなく薬品開発や再生・移植・生殖医療など様々な分野で活用されています。たとえば、体細胞クローン技術は優良家畜の増産だけでなく、医療への応用や絶滅危惧動物・絶滅動物の再生・復活への活用が期待されています。また、卵子や精子から人為的に受精卵を作出する体外受精・顕微授精技術は、ヒトの不妊治療に応用されています。しかし、どの技術も決して安定した技術として確立されているわけではありません。**動物発生学研究室(動物工学)**では、ウシやブタなどの産業動物を用い、アニマル・バイオテクノロジーの基盤となる発生(生殖)工学技術(体外受精・体細胞クローン・遺伝子改変など)を利用して、配偶子形成や受精・発生・分化など初期発生機構の解明および高付加価値有用動物の効率的な生産システムの確立に関する研究を行っています。特に、食肉センターで廃棄される卵巣の有効活用を念頭に、薬剤添加や遺伝子導入など人為的処理による体外成熟・受精・発生能の改善や体細胞クローン個体作出効率の改善に取り組んでいます。このような研究から生まれる新しい生産システムによって、野生動物保護や生物多様性保存にも貢献したいと考えています。生殖細胞を取りまく生命現象の神秘の一端に触れ、専門的な知識・技術だけでなく生命倫理観を養う教育と研究を目指しています。

教員: **日巻 武裕** 助教
博士(農学)
動物工学

- 現在の主な研究テーマ
- (1) ウシおよびブタ卵子の体外成熟・受精・発生技術の高度化に関する研究
 - (2) 卵巣採取個体の性成熟状況が受精卵の発生能に及ぼす影響
 - (3) 体細胞クローン技術の高度化に関する研究

担当授業科目: **動物工学, 動物発生学実験及び実験法, 牧場実習** など



動物管理学



アニマルウェルフェア(動物福祉)は、人間が管理する全ての動物(家畜, ペット, 実験動物, 野生動物)に関心を持たれ、年々高まっています。アニマルウェルフェアでは、動物の肉体的・精神的健康状態が重要な判断材料となり、それを科学的に評価することが求められます。**動物管理学研究室**では、その評価について研究を行うとともに、それをもとにした動物の管理方法の改良も研究のテーマとしています。また、動物行動学を基礎学問とし、動く生物である動物が"行動する"ことの重要性について、動物の精神的健康性(快適・ストレス)との関係を調査し、飼育環境の改善(飼育環境エンリッチメント)へ繋げる研究も行っています。一方、アニマルウェルフェアにおける他の側面、例えば、動物の栄養状態、環境適応、病気、ヒトや同種個体の存在なども重要です。これらについては、栄養学、生理学、免疫学、獣医学など他分野と連携し、研究を進めています。また、その中で動物の個体差(遺伝的な)に着目することも動物の管理のポイントとなります。これらの研究活動を通じて、動物の飼育目的(家畜の利用・生産、野生動物の保全・管理など)の充足・発展に寄与します。

教員: **二宮 茂** 准教授
博士(農学)
動物福祉行動学

- 現在の主な研究テーマ:
- (1) 動物の飼育管理とアニマルウェルフェア
 - (2) 動物の行動発現メカニズムの解明

担当授業科目: **動物管理学, 応用動物行動学, 動物行動管理学実験実習, 牧場実習, 野生生物フィールド実習** など



動物遺伝学



ゲノムとは、「ある生物を構成する遺伝情報全体」を意味します。ゲノムの本体であるDNAの配列を比較すると、同じ種に属する個体間で多少のずれがあります。種が異なれば、違いはさらに大きくなります。**動物遺伝学研究室**は、個体間のゲノムの違いを調べることによって、動物遺伝資源の生産や絶滅危惧動物の保全に貢献することを目指しています。種内や品種内の遺伝的な多様性を明らかにする研究は、家畜の起源の解明とその育種改良に役立つと同時に、絶滅が危惧される野生動物の保全や動物園等での希少種の繁殖にも応用できます。私たちはまた、動物の外見や行動などの違いが、どのような遺伝的な違いに由来するのかについて研究しています。特に、毛色に関連する遺伝子や、味覚や嗅覚に関連する遺伝子に着目しています。例えば、ある個体が特定の苦味を知覚できるかどうかは、たった一ヶ所のDNAの違いによって決まっていることがあります。味覚や嗅覚における個体間や種間の違いを、DNA配列の違いとして理解することで、家畜や伴侶動物の採食行動の理解とその改善、選抜・育種などに役立てることができると考えています。

教員: **松村 秀一** 准教授
博士(理学)
動物分子遺伝学

- 現在の主な研究テーマ
- (1) 動物における味覚・嗅覚受容体遺伝子に関する研究
 - (2) 動物における毛色に関連する遺伝子についての研究
 - (3) 野生動物・飼育下動物の遺伝的多様性の評価
 - (4) 漁業活動による魚の進化についての研究

担当授業科目: **動物遺伝学, 動物育種学, 生物統計学, 動物分子遺伝学実験及び実験法, 野生生物フィールド実習** など



動物繁殖学



動物繁殖学研究室では、動物園や水族館、環境省野生生物保護センターと共同で絶滅の危機にある陸生・海生哺乳類・鳥類を主な対象として、それらの生殖現象について内分泌学的・生理学的に追究しています。また、ホルモン処理による発情同期化や超音波診断など、希少種の人工繁殖に向けた取り組みに協力しています。特に、糞や尿などの排泄物中の性ホルモン代謝物の定量技術の確立を最も重要な課題として取り組んでいます。この方法は動物に対してストレスを与えずに、また採材者が危険に曝されることなく、その個体の繁殖生理状態を非侵襲的に捉えることができるため、動物園動物や野生動物の研究をする場合に非常に有効な手段になります。動物繁殖学研究室は、国内では初めてこの分野に本格的に挑戦し、様々な希少種の繁殖生理を明らかにしてきました。一方、内分泌学的な変化を捉えることと並行して、行動変化などの外部徴候を観察することで、発情などを容易に判定できる外見の指標の検索にも努めています。これは、即時性に求められる飼育・繁殖の現場において重要です。このほかに、水族館等で飼育されている希少カメ類や野生の二ホンイシガメの繁殖生態や産卵生理、外来のカメ類の増殖実態などに関する研究を進めています。動物繁殖学研究室では、多くの動物園や水族館と連携して、繁殖が困難な希少種や絶滅の危機に瀕した野生動物の繁殖生理を解明し、その種の保全に貢献したいと考えています。

教員: **土井 守** 教授
農学博士 動物繁殖生理学

- 現在の主な研究テーマ
- (1) 絶滅危惧動物保全のための動物園動物の繁殖生理に関する研究
 - (2) 水族館類の排泄物中における性ホルモンの測定法に関する研究
 - (3) 爬虫類、特に淡水棲カメ類の繁殖生態と産卵生理に関する研究

担当授業科目: **動物繁殖学, 動物生理学, 動物卵科学, エキゾチックアニマル論, 動物生理学実験及び実験法** など

教員: **楠田 哲士** 准教授
博士(農学) 動物保全繁殖学

担当授業科目: **動物園学, 動物園動物管理学, 動物園学実験実習, 野生生物フィールド実習** など

月刊どうぶつ繁殖日誌 <http://www.doubutsu-no-kuni.net/?cat=52>

どうぶつにくにWebサイトで研究コラム連載中!



■やなぎどフレンズ ~ どうぶつこーすのなかまたち

どうぶつこーすの教育・研究動物の一部です。

<p>◎やなぎどフレンズのリーダー</p> <p>ちち 乳牛 柳戸農場在住 温厚なリーダー</p> <p>さくらちゃん ウマ いつも陽気</p> <p>ランドレース ブタ 小心者で、いつもクラに狙われている</p> <p>おひげ ヤギ 柳戸農場在住 すぐ寝る</p> <p>オリブ ヒツジ 柳戸農場在住 おしゃれな料理が得意</p>	<p>びよひこ ニワトリ 品種は白色レグホーン 柳戸農場在住</p> <p>レグホーン ニワトリのヒヨコ 空を飛ぶのが夢</p> <p>王子(おうじ) ニワトリの卵 未分化</p> <p>まきちゃん イトマキヒトデ 無口でクール</p> <p>キーマ マヒトデ プライド高い まきちゃんの彼氏</p>	<p>お花 アジアゾウ 名古屋生まれ</p> <p>おこじょくん ホッキョクグマ カキ氷が好物</p> <p>つきー ツキノフグマ おこじょくんがライバル</p> <p>たかしくん ツシヤママスコ 環境省指定の希少種 わきばらが弱い</p> <p>しま三郎 スマトラトラ 仙台在住 男の中の漢</p>	<p>赤足のクラン アカアシドックラングール シンガポール出身 必殺技エポールショット</p> <p>小林さん ニホンライチョウ 環境省指定の希少種 乗鞍岳在住 早寝早起が得意</p> <p>あーちゃん ルリコングウインコ 2008年うまれ フィリピンBII出身</p> <p>スズ ウシミミズク 実は手紙を運んでいる ちょっとドジ</p> <p>ていんくる シロイルカ 潜在住 子供と遊ぶのが好き</p>	<p>キリリン アミメキリン 横浜生まれ機演育ち 天然</p> <p>シッピー ミンシツピアカミミガメ 先祖は北米出身・岐阜大うまれ</p> <p>だるまん ナゴヤダルマガエル 田んぼ出身</p> <p>カスミちゃん カスミサンショウフウオ 岐阜市指定の貴重種 2011年岐阜市生まれ 岐阜県のエリート</p>
---	---	---	--	---

※ やなぎどフレンズの名前や設定はフィクションです。

■どうぶつこーすの出版物

どうぶつこーすの教員や学生が制作に関わった最近の出版物です。

『馬にもアニマルウェルフェア!』 馬の飼養管理指針 (日本馬事協会)
『動物園学』 動物園学の教科書 (文芸堂出版)
『放牧地と放牧用語に関する国際用語』 (John Wiley & Sons)
『動物行動図説』 家畜・伴侶動物・展示動物 (朝倉書店)
『すっつといっしょ!』 東山動物園公開ガイドブック (中日新聞社)
『キリンEAZA飼育管理ガイドライン』 (日本動物園水族館協会)

どうぶつ コースの 進路

畜産・飼料・食品・製薬・動物園などの動物系分野で多くの先輩が活躍しています。

卒業生からの メッセージ

■ 岐阜県農政部畜産課 養豚・養鶏係 (岐阜県庁・畜産)

畜産
公務員

白井 里沙 さん
生産環境科学課程 応用動物科学コース 平成24年度卒業

私は今、畜産の中でも養豚振興に関することに携わっています。勉強し直すことの多い毎日ですが、大学で培った広い視野で物事を考える姿勢を大切にしようという意識しながら、日々の業務にあたらしく心掛けています。

岐阜大学に入学してからの2年間は、動物に関する講義に限らず、環境や動物に関する分野の知識や情勢を学ぶことができ、自分の興味や考え方を広げる機会として非常に重要だったと感じています。また3年生で動物コースへ分属した後は、動物の発生や繁殖といった様々な分野の基礎知識を講義で学び、多岐にわたる実験・実習を経験しました。遺伝育種、ヒトトープ、アニマルウェルフェア、そして卒業研究であった動物動物の保全など挙げればきりがありませんが、入学当初には考えも及ばなかった分野と出会うきっかけを得ることできました。また、教職課程も選択していた私は、教員免許取得のために動物の内容以外に農学に関する講義を受けていたのですが、それが今の業務で農業全体について考える際に役立つことがあります。このように大学時代に得た知識や視点、時には人間関係が、思いもよらない局面で関係してくることもあります。どのような進路を選択しても様々なことに興味を持って、自分にとってのきっかけを探りやしてもらえたらと思います。



■ 愛知県農業総合試験場 畜産研究部 (愛知県庁・畜産)

研究
公務員

加藤 里依 さん
生産環境科学課程 応用動物科学コース 平成21年度卒業

大学の時にウシについて学び触れあい、その魅力を知った私は、卒業後は愛知県の畜産職として入庁し、現在、長久手市にある農業総合試験場の畜産研究部で乳牛の研究をしています。毎日の仕事は、主に試験用乳牛の飼育管理です。試験研究として現在2課題待っており、私は「飼料用米の搾乳牛への効果的な給与方法の検討」と「搾乳牛の受胎率向上のための試験」を担当しています。日々の飼育管理として、具体的なことは搾乳牛のTMR飼料設計、繁殖管理(直腸触診、人工授精、受精卵移植、妊娠鑑定等)、体調チェック、獣医さんの治療補助、分娩介助などが主な仕事です。今年でようやく4年目となり、先輩の手から離れ、一人でなんとか仕事がこなせるようになってきたところです。

私は大学時代、応用動物科学コースの動物栄養学研究室に所属し、そこで乳牛の研究をしていました。現在、そこで得た知識や経験を直接活かせる仕事についており、非常に仕事の土で役立っていると感じる場面が多くあります。ただ、畜産職といえど果職の仕事は幅広く、今後扱う畜種が変わることや(豚、鶏など)、研究以外の部署(県庁や各地農林水産事務所普及課など)での勤務の可能性もあります。しかし、大学で学んだ畜産、そして農業としての幅広い知識はどこへ行っても役立つのだと私は感じています。応用動物科学コースのみなさんは自分の興味のある分野はもちろんですが、その他の分野についても幅広く学んでほしいと思います。本当に思わぬところで役立つ知識があったりします。私は毎日大好きなウシについて考えることのできる仕事に就けて、本当に幸せです。みなさんも好きなことを仕事にすると毎日楽しいですよ。頑張ってください。



■ 静岡市立日本平動物園 (静岡市・畜産)

動物園
公務員

横山 卓志 さん
大学院応用生物科学研究所 生物環境科学専攻 平成23年度修了

大学3年の秋に、偶然あるテレビ番組を見たことがきっかけで動物園に興味を持ちました。それ以来3年間、動物園動物の行動や繁殖生理について研究し、現在は静岡市立日本平動物園でシロサイとマレーバクの飼育を担当しています。飼育業務に就いてまだ2か月余りですが、ようやく動物たちも私の存在に馴れてきたように思いますが、動物の状態は日々刻々と変化するため見極めることはとても難しいのですが、毎日新しい発見があり、動物の魅力を感じながら仕事をしています。まずは飼育管理技術や動物を見る目を身につけることに専念しながら、新しい解説パネルの作成なども始めています。

私は動物園に就職するため、様々な努力をしました。動物や動物園水族館に関する本を数限りなく読み漁り、そして国内外の動物園水族館を100館巡回し、各園のコンセプトや動物の魅せ方を学びました。動物園関係のセミナーやシンポジウムにも積極的に参加し、様々な分野の方の意見を聞き、自分がどんな飼育員になりたいかを考えました。就職活動も意識し始めた大学院1年の秋以降は、深夜まで大学で研究し、帰宅後は夜明けまで試験対策をするなど、睡眠時間を限界まで減らして勉強しました。

私が大学院生活を過ごした岐阜大学には全国の動物園水族館とつながるきっかけがあります。動物園に関する授業はもちろん、珍しい野生動物の骨格標本を複製したり、動物園水族館のバックヤードを見学したりする機会もあり、就職を考えるうえで大いに参考になると思います。動物園水族館への就職は「狭き門」と言われますが、その狭き門を広げるには誰にも負けない情熱と行動力です。自分の夢をしっかり持ち、何事も興味を持って、学生のうちからできない経験をしてください。様々な人との出会いや経験が、可能性を大きく広げてくれるはずです。



■ 盛岡市動物公園 (公益財団法人盛岡市動物公園公社)

動物園

松村 亜裕子 さん
大学院応用生物科学研究所 生物環境科学専攻 平成24年度修了

私は漠然と将来は動物に関わる仕事がいいと考えて、それを軸に進路を決めてきました。そして私が選んだ高校卒業後の進路は、米国の大学への進学でした。この頃まだ特定の希望する職業は決まっていなかったのですが、生物や動物のことを学びながら苦手だった英語をモノにできればという思いからのことでした。そして大学卒業を目前に見つけたのが、動物栄養学研究室でした。飼育下の動物の繁殖の生理状態を非侵襲的に評価するという研究内容に興味を持ち、もっと詳しく知りたいという思いから進学を決めました。研究は、分析や行動観察、得たデータの意味を読み取るために、基礎的な勉強からたくさんの文献を読む必要があり、決して楽なものではありませんでした。けれど、やればやるほど面白くなっていました。そして全国の動物園・水族館とのつながりがあることから、それらの持つ面白さ、社会的に持つ意味の大きさを再認識し、「動物園・水族館の飼育技師」という希望職種にたどり着きました。

これから進路を決めるみなさんの中には、明確な将来像を持っている人のほうが少ないのではないのでしょうか。そんな中、これからの人生を左右するとも言える大学や学部選びをするのはとても難しいし、悩ましいと思います。私の経験から言うなら「案ずるより産むが易し」。先が見えないとしても、興味を持ったものに向かって突き進んでみるというの1つの方法だと思います。遠回りも近道も、役に立つ事も立たないこと全てを経験画として蓄積されたと考えて様々なことにチャレンジしてください。



分野	就職先 進学先 (過去10年間)
①畜産・食品関連	伊藤八木、キュービー、ヤマナカ、森永乳業、大東乳業、名古屋製粉、イセファーム、ゲン・コーポレーション、後藤卵卵場、大山どり、クレオファクトグループ、柿安本店、飯神産産、石川養豚場、フリーデン、ウオック、日本食品分析センター、日本製粉、丸高製粉、丸高製粉、東洋発酵、ライフブーズ、フジパン、教員八木、ロピア、浜乙女、エスピー食品、コーミ、サンエイ糖化、山田養蜂場、新海牧場、全国酪農業協同組合連合会、厚生産業、日本食肉付付協会、ロマンチックデリーリアファーム、林牧場、寿がきや食品、フロンコピラー、日本レストランエンタプライズ、日本食研、伊那食品工業、みなみ信州農業協同組合、富山市農協、J A滋賀中央会、J Aあいち経済連、名古屋大学東郷フィールド など
②動物飼料 (家畜飼料, ペットフード)	日本農産工業、日本配合飼料、協同飼料、日本ペットフード、エヌビーエフジャパン、スマック、三昌物産、豊橋飼料 など
③製薬・動物薬・医療・研究など	三共ライフテック、大日本製薬、第一製薬、共立製薬、バイエル薬品、アステラス製薬、ゼネカ薬品、アスコ、富山化学工業、グラクソ・スミスクライン、岐阜県公衆衛生検査センター、日本遺伝子研究所、大正製薬、大塚製薬工場、大洋薬品、東和薬品、タック、岐阜県生薬産業技術研究所、バイオロジカ、加藤生薬研究所、中北薬品、武田薬品工業、食品農薬医薬品安全性評価センター、八神製作所、新日本科学臨床薬理研究所、医学生物学研究所、岐阜県環境管理技術センター など
④動物飼育施設 (動物園, 水族館, 観光牧場など)	東京動物園協会 (多摩動物公園)、静岡市役所・畜産職 (静岡市立日本平動物園)、京都市役所・畜産職 (京都市動物園)、浜松市役所・畜産職 (浜松市動物園)、盛岡市動物公園公社 (盛岡市動物公園)、小諸市動物園 (西海国立公園九十九島植物園、京急油壺マリンパーク、アワーズ (アドベンチャーワールド)、日和山観光 (岐阜マリンワールド)、アイビーシー (PCPわん動物園)、鷹山ファーム牧場、伊賀の里モクモク手づくりファーム、乗馬クラブクレイン、なかしき動物倶楽部チズOO など
⑤その他動物関連	アニコムインターナショナル、動物病院 など
⑥公務員 (国家・地方)	農林水産省、岐阜県庁・畜産職、愛知県庁・農学、愛知県・畜産技術職、長野県庁、和歌山県庁、大分県庁、美濃加茂市役所、小牧市役所、法務省、愛知県警察 など
⑦教育 (高校教員など)	岐阜県教育委員会、愛知県教育委員会、野田塾、志門塾、東進、アイビーシー (IPC国際ペットカレッジ総合学院)、モノリス、岐阜大学応用生物科学部 など
⑧進学 (大学院等)	岐阜大学大学院 (農学研究科・応用生物科学研究所・連合農学研究科・医学系研究科・獣医学研究科・教育学研究科)、名古屋大学大学院 (生命環境科学研究所、医学系研究科)、京都大学大学院 (理学研究科・霊長類研究所)、東京農工大学大学院 (農学研究科)、筑波大学大学院 (生命環境科学研究所)、総合研究大学院大学、韓国ソウル大学、日本医療福祉専門学校、Toronto School of Professional Pet Grooming など

※ 地方自治体の動物園 (飼育係) は通常、畜産職として採用していますので、畜産学の勉強が必須です。動物園就職は非常に狭き門ですが、応用動物科学コースは応援します。

■ 株式会社アスコ 名古屋営業所

動物
医薬品

後藤 佳恵 さん
生産環境科学課程 応用動物科学コース 平成20年度卒業

私は、動物用医薬品ディーラーの(株)アスコで営業を担当しています。一言で営業というところ、お客様のところへ飛び込みで行って商品を売る...というイメージが強いかもしれませんが、私たちの会社はメーカーではなくディーラーなので、「ルートセールス」というかたちを取っています。既存のお客様のところに商品の配達や商品の案内、提案などの営業活動をしています。営業は産産動物担当と小動物担当に分かれ、産産動物担当は畜産農家さんを、小動物担当は動物病院を主に担当し、日々活動しています。私は小動物担当で、担当する動物病院は35軒ほどです。そのうち毎日約20軒の動物病院をまわっています。獣医師相手なのである程度の専門知識が必要となり、入社したころは話ができなかったり、新商品の案内をしても、購入してもらえないことも多々ありました。しかし、徐々に知識を身につけて、信頼関係を築いていくことで話ができるようになっていきました。なかなか売れなかった商品を購入していただいたときの達成感はたまりません。

今は主に犬や猫を対象に仕事をしているので、大学時代に研究していた動物の知識が直接関係してくる部分は少ないかもしれませんが、しかし、動物が好きで岐阜大学に入り、動物の健康に関わることに就けたことを嬉しく思っています。今学んでいることは、必ず自分の将来・夢につながるはずです。ぜひ多くのことを学び、挑戦して自分の可能性を広げてください。応援しています。



■ 豊橋飼料株式会社

畜産
飼料

岩鍛治 拓 さん
生産環境科学課程 応用動物科学コース 平成22年度卒業

大学で畜産を学び、興味を持ったことから、就職も畜産と研究していた栄養学に関わる飼料業界を選びました。現在は、関連農場の財務、経理管理を担当していますが、仕事をする上でも豚、鶏、牛の出荷までの成育過程や畜産管理システムを理解している必要があるため、大学で学んだ動物管理学や動物栄養学などは今でも役に立っています。当面の目標は先輩社員の手を離れ、自分で仕事ができるようになることです。



■ 城崎マリンワールド (日和山観光株式会社)

水族館

川田 里絵 さん
生産環境科学課程 応用動物科学コース 平成20年度卒業

私は城崎マリンワールド(水族館)で飼育員として働いています。担当は魚類、ペンギン、アザラシ、アシカです。仕事内容は動物園に関わることで中心ですが、動物たちの飼育(調餌、給餌、掃除など)、ランチタイムショーの演出、水槽の管理、生息木の剪定、湯水掃除などもあります。動物たちの能力、素直らしさをお客様に知ってもらい、楽しんでもらうことも大切な仕事です。

私は大学時代、応用動物科学コースの動物生産栄養学研究室に所属し、ウシやヒツジ、ヤギ、ニワトリなどの家畜動物を対象としています。魚類なので、分野は違っていますが、しかし、大学時代に家畜の飼育で身につけた基本的なことが今役立っています。学生時代は、自分の興味あることにことごとく打ち込んでください。やりたいことをやり残さないよう、しっかりと挑戦してほしいと思います。その中で自分の将来の仕事が見つかるかもしれません。ちなみに私は3年生の時に、ある水族館に実習に行ったことが水族館の飼育員になろうと思ったきっかけでした。飼育の仕事は思っている以上に体力的にも精神的にもハードです。動物コースの講義や実習をしっかり身につけて、動物園や水族館の役割について自分なりにしっかりと学んでおきたいと思っています。

城崎マリンワールドに来たことがある方はわかるかもしれませんが、ちょっと変わった水族館です(笑)。水族館なのにアトラクションがあるの!? ショー中に炎や水が出るの? アジロのびできるの!? などよりスタッフがおしゃべり(´▽`) 3月には新施設Tubeがオープンしました。これからも水族館以上を目指し、動物たちの素晴らしい姿をたくさんの人に伝えていきたいと思っています。お客様の「へえ〜」、「ありがとう」の声が私の仕事の原動力になっています。一度は諦めかけましたが、夢だった飼育の仕事につくことができてきました。諦めなければ、きっと道は開けます。ぜひ挑戦してください。応援しています。

